

基本施策 A 4 国際性を豊かにします

主管課：国際課

個別施策

- A4-1 国際交流の機会の充実を図ります
- A4-2 外国人住民が暮らしやすい環境づくりを進めます
- A4-3 留学先としての質の向上を図り、留学生の満足度を高めます

ア 施策の目的

市民が、国際交流や国際理解に積極的に取り組み、外国人住民とともに快適な環境の中で暮らしている。

イ 基本施策の評価

A b 目標を達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる

ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	
国際理解講座への 参加者数	2,030人 (26年度)	↑	目標値	2,087	2,115	2,144	2,172	2,200
		実績値	3,185	2,932	2,380			
		達成率	152.6%	138.6%	111.0%			
在留外国人数	3,444人 (26年)	↑	目標値	3,529	3,572	3,615	3,658	3,700
		実績値	5,659	4,109	3,809			
		達成率	160.4%	115.0%	105.4%			

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に対する意見

なし

カ 審議会における施策推進に向けた提案

- 人口減少が著しい長崎市では、外国人の居住者、移住者を増やしていくことが、人口減対策の一環としても大変重要なことであるので、施策に反映し、住宅支援、就職支援等を含めた財政支援に取り組んでほしい。
- ベトナムの方たちに向けて、「やさしい日本語」を使って生活などの案内をされていることは称賛できる。
- 若者に対する情報発信の媒体は変化しており、また若い子に伝えるためには若い子に発信してもらうことが最も効果がある。市としてできることは、メディア発信のた

めのリテラシー教育（情報を正しく扱い、読み取るための教育）や、魅力的なWebサイトの作り方などに対する支援を行うことではないだろうか。

- 緊急対応や緊急通報は、消防や警察だけでなく、DVの問題や子供の問題など様々である。各所管でこれまでの積み重ねてきた手引きを多言語対応化させ、各課や各学校に配布することにより、外国人の方にももっと支援ができるのではないか。
- 外国人に対しても、共に歩んでいくという「協働」の考えのもとまちづくりに取り組んでいると思う。評価シートにおける表現について検討してほしい。
- 小中学生への国際教育は、子どもゆめ体験事業など非常に素晴らしい事業を市が予算をかけて実施しているが、高校生以上にも継続した教育ができるよう県と連携して取り組んでほしい。
- 国際教育の良い例として県立東中学校及び東高校の例があるので、参考にされてはどうか。

キ 次期総合計画の策定に向けた意見

- 情報発信に関しては、SNSの活用や情報リテラシー（情報を扱う基本的な能力）について全庁的に検討する必要がある。